

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治



“テロリストに乗っ取られた”JR東日本の真実”

「マンガグローブ」ダイジェスト版 第7回

あの「週刊現代」連載記事が【マンガグローブ】という本になった。本紙は筆者（西岡研介氏）の了解を得て、『謎に包まれた非合法集団とJR東日本の抜き差しならぬ関係』をダイジェスト版として紹介することとした。

家宅捜索でバレた隠し別荘

03年9月、警視庁公安部が押収した預金通帳などから、松崎の組合費横領疑惑が発覚した。ところがその三ヶ月後の03年12月、篤はまるで公安部の捜査から逃げるかのように、家族とともに渡米。松崎が購入した、ハワイ州コナ市の超高級コンドミニアムに移り住むのである。さらにその一ヶ月後の04年1月、篤はさつき企画の代表取締役も辞任している。

「これら松崎が所有しているハワイの別荘の存在は、東労組の一般の組合員はもちろんのこと、われわれ幹部ですら、まったく知りませんでした。名目上、『鉄福（日本鉄道福祉事業協会）＝前身は動力車福祉事業協会』が所有しているとされている沖縄・今帰仁村の別荘も、実質的には松崎のものでした。つまり鉄福は、松崎の資産の隠れ蓑なのです。鉄福は目黒さつき会館などの運営を主な業務としている、それは鉄福の表の顔。鉄福の理事長は長年、『松崎の金庫番』といわれた佐藤正雄（87年2月、当時、動労中央本部副委員長だった佐藤は、ヘルメット姿の中核派に鉄パイプで滅多打ちにされ、瀕死の重傷を負う）という人物が務めてきた。このため松崎が実質的に所有してきた別荘のほとんどが、鉄福名義になっているのです。これは後になって明らかになるのですが、鉄福は同じ沖縄の宮古島にも別荘や土地を所有していたのです。…」（阿部克幸氏＝当時、さつき企画取締役）

このほかにも鉄福は、石垣島にも土地を所有していたが、松崎の隠し資産はこれだけではない。軽井沢に次ぐ北関東屈指のリゾート、群馬県嬬恋村。その嬬恋村の中でも、西武系列が開発した大規模な別荘地「プリンスランド」の一面に立つ、二階建ての別荘。玄関に鉄福の表札が掲げられたこの別荘は、登記簿によると87年に「さつき商事」が購入。その後、99年に鉄福が買い取っている。

「03年9月の警視庁の家宅捜索後、これらの別荘は東労組内でも大問題になりました。04年の2月になってJR総連は、『別荘は申し込みがあれば誰でも借りられるものだ』などと言い始めました。鉄福もJR総連に足並みを揃えるかのように、04年2月になって初めて、別荘のパフレットを配布しました。しかも、ご丁寧に『2003年1月』と作成期日が目立つように記入されている。つまり、家宅捜索に入られる前にパンフを作成していたと言いたかったのでしょう。…松崎の資産は、別荘や土地だけではありません。東労組の過去の決算書の『有形固定資産表』に載っているだけでも、91年から01年までの10年間で四台の車を買って替えています。それもボルボ、ベンツ、トヨタのクラウン、三菱のプラウディアという高級車ばかり。10年余りの間に4000万円以上が松崎の車代に消えているわけです。これらはすべて組合費。たしかに03年まで松崎は東労組の顧問についていましたが、顧問退任以降は組合員の資格を持っていない。社員でも東労組の組合員ですらない人間が、組合費で買った高級車に乗っているのです」（本間雄治氏＝当時、東労組本部業務部長）

【マンガグローブ（講談社）P.103～P.110】